

授業科目 小児科学（小児口腔科学）

【担当教員名】 田口 洋	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30(内15)

【<概要>】  
 小児期における顎顔面口腔領域の発育を形態的・機能的に学習する。  
 特に小児の吸啜から咀嚼への以降期における口腔機能の発達を総合的に学習する。  
 また、小児期に特有な口腔領域における主たる疾患と発育に及ぼす影響を紹介し、健全な発育を助ける疾患の予防についても理解を深める。  
 授業中の積極的姿勢を評価する。

【<学習目標>】

- ・小児の顎顔面口腔領域の発育を身体的発育と対比して理解する。
- ・口腔領域の形態的発育と機能的発達との相互関係を理解する。
- ・小児期の口腔領域に特有の疾患を学ぶ。
- ・口腔領域の疾患とその予防について学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	顎顔面の発生と発育：顔面・口腔領域の発生と発育について学ぶ		講義
2	吸啜のメカニズム：おっぱいの飲み方について学ぶ		講義
3	咀嚼機能の発達：離乳期から咀嚼機能の習熟過程について学ぶ		講義
4	小児期の口腔領域疾患(1)：齲蝕を中心に口腔領域固有の疾患を学ぶ		講義
5	小児期の口腔領域疾患(2)：歯の萌出障害、歯列異常を中心に口腔領域固有の疾患を学ぶ		講義
6	小児期の口腔領域疾患(3)：外傷、粘膜疾患を中心に口腔領域固有の疾患を学ぶ		講義
7	健全な発育のために：口腔領域の健康保持と疾患の予防について学ぶ		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その
教科書	授業開始時に配布する。			
参考書	〈ブックレット新潟大学5 『食べる』〉	〈花田晃治・野田 忠〉	〈新潟日報事業社〉	〈2002年・1,680円〉
	〈かむこと、のむこと、たべること〉	〈大橋 靖編〉	〈医歯薬出版〉	〈1996年、2,266円〉
その他の資料	必要に応じて配布する。			

【評価方法】 各授業の初めと終わりにレポートを課す。 提出したレポートと、授業中の発言等を総合して評価する。	【履修上の留意点】 各授業の終わりに次回講義内容について簡単なレポートを課すので、配布した教科書や図書館で学習し、レポートを作成すること。
--------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------